

平成24年度 大麻幼稚園

自己評価・学校評価の結果について

平成25年3月

1. 園の教育目標

子どもが自ら課題を持って、力いっぱい遊びや仕事に取り組むことを大切にしながら、次のような子どもを育てることを目標に保育を進めている。

1. 自分のことは自分でする子ども
2. いつもにこにこ明るい子ども
3. だれとでも仲良く遊ぶ子ども
4. わがままをいわずがまんする子ども
5. からだのじょうぶな子ども

2. 重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の利用方法、より良い教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育要領教育課程、子どもの実態などを基に考えて作成している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は、日々の記録を参考にして、子どもの実態把握をし、日案の作成をし、反省、課題を見つけ、具体的な手立てを講じるよう努めている。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで、月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うように努めている。
子どもの良さを認めて評価しようとする姿が見られる。	一人ひとりの子どもの良さを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
遊びを通して工夫し、協力する姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友達と協力して遊べるよう環境を設定している。
規則正しい生活習慣の定着に向けて指導を行う。	一日の流れの中で、身につけてほしい生活習慣の獲得ができるよう援助している。
各研修や研究会に積極的に参加して職員に資料提供する。	各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会議等において、提供し共有化を図っている。

園だよりや参観日を通して幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取り組みを園だよりに記載し、参観後、幼稚園の情報公開に努めている。
園の財務状況	公認会計士監査により、適正に運営されていると認めている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ●教師一人ひとりが学校評価の趣旨を理解し、各自適正に自己評価に取り組んできた。今後も客観的な目で、自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねてほしい。 ●施設面では、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるよう施設の利用方法を考えながら進めてきた。 ●保護者アンケートを実施し、幼稚園の見解と今後の見通しを伝えた。
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
自己点検・自己評価	基本の項目を点検課題としてあげているので、さらに課題を持って自己研鑽に取り組んでいく。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために、訂正、加筆を加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の作成に取り組んでいく。

6. 学校関係者評価委員の意見

園舎改築を行い、3年目、子ども達が伸び伸びと生活している評価を得ている。より良い保育、環境の整備に心がけ、認定こども園として、3つの機能（幼稚園・保育園・子育て支援センター）が、地域の親子にとって望まれる園であってほしいと願う。
--